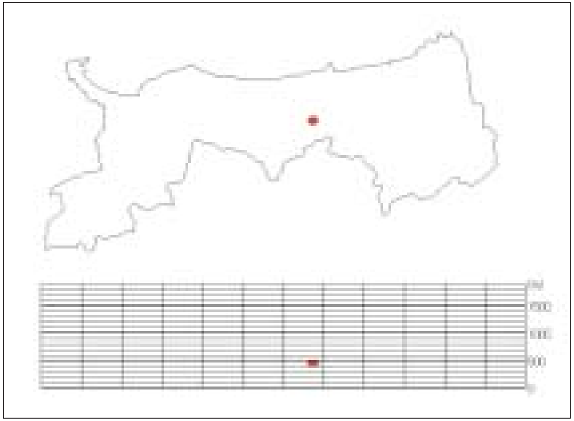
エゾカワラナデシコ　ナデシコ科
Dianthus superbus L.

鳥取県：絶滅危惧Ⅰ類（CR+EN）
環境省：－

■**選定理由**　局限・孤立，遺存性，希少性。

■**生態･形態**　県内では三徳山の乾いた凝灰岩の岩上や岩隙に小群生する夏緑性多年生草本。保水性の高い凝灰岩が良好な生育環境を提供していると考えられる。遺存植物。茎は這い分枝して叢生，高さ10～30cm。葉は対生，線状披針形，粉白緑色，節は膨らむ。花は7～9月，淡紅色，枝先に数個，苞は2対，萼は長く筒状，花弁の先端は細深裂する。類似のカワラナデシコは苞が3対，茎葉の白色度がうすい。地元ではミトクナデシコの名で親しまれている。

■**分布**　北海道，本州中部以北。
（県内）三徳山。

■**保護上の留意点**　採取防止。生育地の植生保護。